

ISSN-L 2186-7046

宮城県保健環境センター一年報

平成 22 年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.29 2011

宮城県保健環境センター

はじめに

此度、大震災で被災したこともあり大変遅くなりましたが、保健環境センターの平成 22 年度における業績をとりまとめ年報第 29 号として発刊する運びとなりました。皆様には、ご高覧の上、忌憚のないご意見を賜れば幸いと存じます。

当センターは、県民の方々の保健衛生や環境保全の維持向上のため、試験検査、調査研究、関係情報の収集・解析・提供及び技術研修などを行っております。平成 22 年度は結核菌の迅速な薬剤耐性の推定方法の検討、魚介類の残留農薬の一斉分析法の検討、バイオアッセイによる包括的水環境診断、有害大気汚染物質の影響調査や航空機騒音の新評価指標による影響範囲の検討など、さまざまな課題に鋭意取り組んできたところです。

しかし、平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により、当センターは本庁舎が使用不能になる被害を被りました。その日その時刻は、第 29 回研究発表会の開催中で、1 階大会議室に来客と大半の職員が居り、試験検査等業務を実施していなかったことから、幸いにも 1 人の負傷者も出ませんでした。

ただ、2 階から上の試験検査室内の機械器具は壊滅的被害を被りました。そのため、生活化学部、水環境部、大気環境部の分析業務は産業技術総合センターの研究室を借用し、機械の搬入・修繕、購入により随時復旧しております。

分庁舎（微生物部）は被害が少なかったことから、ライフラインの復旧とともに平常業務に戻れました。

また、本庁舎の再建（平成 25 年度末）が決まったことから、企画総務部の一部や大気の常時監視システム等は旧消防学校に移転し業務を継続しております。

今後は、三か所に分かれての業務がしばらく続きますが、センターが担う試験検査・調査研究、健康危機管理体制の充実強化など、県民の皆様の期待に十分応えられますよう、職員一丸となり積極的に取り組んで参りますので、更なるご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成 24 年 2 月

宮城県保健環境センター

所 長 茨 木 隆 雄

目 次

A 事業概要

I 総 説

1 沿 革	1
2 機構及び業務分担	1
3 職 員	2
4 決 算	3
5 主要機械器具	4
6 技 術 研 修	7
7 講 師 等 派 遣	8
8 学術情報の収集	9

II 概 況

1 企画総務部	11
2 微生物部	13
3 生活化学部	18
4 大気環境部	20
5 水環境部	24

B 調査研究

I 論 文

酵素を用いたカキからのノロウイルス濃縮法の検討	27
高橋 由理 阿部 美和 植木 洋 佐藤 由紀 菅原 優子 沖村 容子 国立医薬品食品衛生研究所 野田 衛 東北大学大学院工学研究科 真砂 佳史 大村 達夫	
2010年手足口病・ヘルパンギーナから検出されたエンテロウイルスについて	30
阿部 美和 高橋 由理 植木 洋 佐藤 由紀 菅原 優子 沖村 容子	
夏季に発生する腸炎ビブリオおよびサルモネラの動態について	33
後藤 郁男 中居 真代 宮崎 麻由 木村 葉子 矢崎 知子 高橋 恵美 有田 富和 那須 務 畠山 敬 渡邊 節 沖村 容子	
生食用鮮魚介類等におけるヒスタミン産生菌に関する調査(第2報)	37
宮崎 麻由 中居 真代 有田 富和 那須 務 渡邊 節 沖村 容子	
黄色ブドウ球菌を原因とする食中毒事件の概要および市販ソフトクリームの細菌汚染状況調査	40
有田 富和 中居 真代 宮崎 麻由 那須 務 渡邊 節 沖村 容子	
布巾の殺菌効果の検討	43
那須 務 中居 真代 宮崎 麻由 有田 富和 渡邊 節 沖村 容子	
宮城県内で鶏肉と散発下痢症患者から分離されたサルモネラ菌の血清型、薬剤感受性試験 および PFGE 解析	46
渡邊 節 中居 真代 宮崎 麻由 有田 富和 那須 務 沖村 容子	
うなぎ中のマラカイトグリーン分析における脂質精製と溶解溶媒の違いによる標準溶液の 安定性の検討	50
千葉 美子 吉田 直人 高橋 祐介 氏家 愛子	
トータルダイエットスタディ試料を用いた魚介類由来残留農薬の一日摂取量調査	54
高橋 祐介 千葉 美子 吉田 直人 氏家 愛子	

平成 22 年 11 月 12 日の黄砂飛来による SPM 高濃度	59
仁平 明 佐藤 直樹 中村 栄一 菊地 秀夫	
北東部太平洋側における降水中の鉛安定同位対比測定	65
北村 洋子 小川 武 佐久間 隆 小泉 俊一 菊地 秀夫	
(独) 国立環境研究所 向井 人史	
防衛施設の飛行場周辺における <i>WECPNL</i> から <i>Lden</i> への換算方法	69
菊地 英男	
宮城県沿岸域における表層水温のトレンド	73
ーダミー変数を用いた重回帰分析による推定	
福地 信一 阿部 郁子 佐々木 久雄 藤原 秀一	

II 資 料

宮城県結核・感染症発生動向調査事業	79
微生物部	
感染症流行予測調査	83
微生物部	
平成 22 年度に宮城県で発生した 3 類感染症	87
微生物部	
平成 22 年度に検査依頼のあった 4 類, 5 類感染症	89
微生物部	
平成 22 年度収去検査結果 (細菌検査) 実績	92
微生物部	
平成 22 年度食中毒検査結果	93
微生物部	
平成 22 年度生活化学部検査結果	94
生活化学部	
加工食品に含まれる甲殻類タンパク質検査法の検討	100
山口 友美 高橋 祐介 氏家 愛子	
輸入畜肉中の動物用医薬品の一斉分析の検討	102
吉田 直人 高橋 祐介 千葉 美子 氏家 愛子	
粒子状物質濃度からの黄砂の推察	104
佐藤 直樹 仁平 明 中村 栄一 菊地 秀夫	
大気中の揮発性有機化合物調査	106
佐久間 隆 小川 武 小泉 俊一 北村 洋子 木戸 一博	
廃棄物分析情報迅速検索システム活用最終処分場等水質の状況	108
秋野 正造 藤原 秀一	
伊豆沼・内沼浄化対策としての堰操作と底質の巻上の検討	110
渡部 正弘 鈴木 壽雄 福地 信一 藤原 秀一	

III 調査研究課題一覧	113
--------------	-----

C 研究発表状況

I 他誌論文抄録	115
II 学会発表等	117
III 研究発表会	119